

Asmix

クロスカット オートフィードシュレッダー

品番 **SF301C/SAF301C** 取扱説明書



お買い上げいただき、まことにありがとうございます。



説明書を読む

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

ご使用前に、「安全上のご注意」(1・2ページ)を必ずお読みください。

この取扱説明書は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

ご注意

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障・不具合がありましたら、お買い上げの販売店までお申し付けください。
- お客様または第三者がこの製品及び付属品の使用誤り・使用中に生じた故障・その他の不具合・使用によって受けられた損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- この製品は情報の復元・流出の防止を保証するものではありません。

仕様(50/60Hz時)

定格細断枚数	8枚	制 御 機 能	オートリバース機能、温度ブレーカー 警告ランプ、過電流保護機構 手差し/オートフィード同時細断防止機構 細断屑満杯センサー	
最大細断枚数	9枚			
オートフィードセット枚数	100枚			
細断寸法	4×10mm クロスカット	操 作 機 能	電源スイッチ オートスタート&ストップ機能 自動停止安全スイッチ、逆転スイッチ 手動細断(オートフィードスタート)スイッチ フィーダーカバースイッチ	
ダストボックス量	約14L			給 紙 口 幅
	手差し細断時	オートフィード細断時		
	8枚ずつ:約544枚	1枚ずつ:約136枚	コードの長さ	約1.4m
使用時間	(定格)6分間	30分間	外形寸法 (突起部含まず)	W352×D227×H452mm
細断速度	約3.2m/分 手差し細断時1枚時		質 量	約8.7kg
使用電源	AC100V		付 属 品	取扱説明書、保証書
消費電力	270/260W			

※A4コピー用紙(64g/m²)タテ入れ時での数値です。

※外形寸法、質量は組み合わせ時での数値です。

※60Hzでは細断枚数が1~2枚少なくなる場合があります。

※細断枚数は環境・紙質・投入方法などにより変化する場合があります。

※最大細断枚数は、10回連続で細断可能(約71秒間※50/60Hz時)な枚数です。(細断率90%以上)

※長くご使用いただくために、定格細断枚数での細断をおすすめします。

株式会社アスカ

カスタマーサービスセンター ☎050-3381-5100

受付時間:AM10:00~12:00/PM1:00~5:00 月曜日~金曜日(祝祭日・年末年始・夏季休暇期間を除く)

2026年1月 第1版



安全上のご注意

この取扱説明書および製品には、ご使用になる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害・損害の程度を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う恐れがある」内容です。	 注意 この表示の欄は「けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある」内容です。
--	--

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分しています。(図記号の一例です)

 この記号は「してはいけない」禁止内容です。	 この記号は「必ず実行していただく」強制内容です。
--	--

警告



説明書を読む

ご使用の前に必ず取扱説明書をよく読む



可動部注意

内部に可動部がある
接触しないように注意する
けがをする恐れがあります。



可燃スプレー厳禁

エアダスター・殺虫剤等の
スプレーを絶対に使用しない
可燃性のガスに引火して
爆発する恐れがあります。



鋭利な角注意

鋭利な角・縁がある
接触しないように注意する
けがをする恐れがあります。



100V以外禁止

交流100V以外の電圧で
使用しない
感電・火災の原因になります。



子供使用禁止

子供の手の届く所で
使用しない
けがをする恐れがあります。



分解禁止

絶対に
分解・修理・改造をしない
けがをする恐れがあります。
修理は販売店までお申し付けください。



手を入れるな

給紙口・排出口に
指を入れない
けがをする恐れがあります。



禁止

電源コードを傷つけたり、加工したり、
ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、
重い物を載せたり、束ねたりしない
ショート・感電・火災の原因になります。



衣類巻き込み注意

給紙口に衣類等を
近づけない
けがをする恐れがあります。



禁止

電源コードが破損した時は
ご自身で修理しない
ショート・感電・火災の原因になります。
修理は販売店までお申し付けください。



髪の毛巻き込み注意

給紙口に髪の毛を
近づけない
けがをする恐れがあります。



プラグを抜く

お手入れの時は
プラグを必ず抜く
けがをする恐れがあります。



装飾品巻き込み注意

給紙口に
装飾品等を近づけない
けがをする恐れがあります。



水ぬれ禁止

水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。

注意



禁止

**熱器具に
近づけない**
ショート・感電・火災の
原因になります。



禁止

紙が詰まった状態で電源を
入れたまま放置しない
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

**プラグをぬれた手で
抜き差ししない**
感電の原因になります。



プラグを抜く

細断屑を捨てる時・
ダストボックスを引き出す時・
使用後は電源を切り
プラグを必ず抜く
けがをする恐れがあります。



強制

**プラグは根元まで
確実に差し込む**
感電・火災の原因になります。



強制

トレー開閉時・
ダストボックスを入れる時は
指をはさまないように
注意する
けがをする恐れがあります。



プラグを抜く

**移動させる時は電源を切り
プラグを必ず抜く**
ショート・感電・火災の
原因になります。



禁止

細断中はダストボックスを
引き出さない
けがをする恐れがあります。



プラグを抜く

**プラグを抜く時は
電源コードを引っ張らず
プラグを持って抜く**
ショート・感電・火災の
原因になります。



禁止

湿気、水気のある所・
直射日光の当たる所・
屋外に置かない
故障・感電の原因になります。



禁止

タコ足配線をしない
感電・火災の原因になります。



禁止

不安定な所に置かない
けがをする恐れがあります。



プラグを抜く

**しばらく使用しない時は
電源を切り
プラグを必ず抜く**
事故・感電・火災の原因になります。



禁止

電源コードを束ねたまま
使用しない
故障・火災の原因になります。



禁止

細断禁止物はいれない
故障の原因になります。
10/11号以外のステープラー針は
必ず取り外して入れてください。



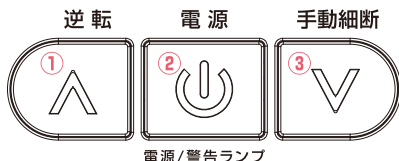
禁止

シンナー・ベンジンで拭いたり
殺虫剤をかけない
ショート・感電・火災の原因になります。

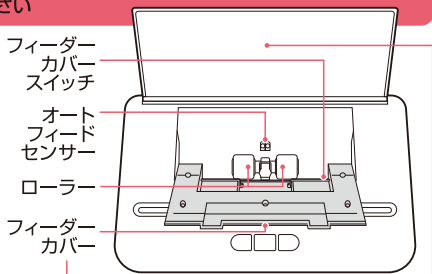
各部の名称

細断検査の為ダストボックス・刃に細断屑が残っている場合がありますが
あらかじめご了承ください

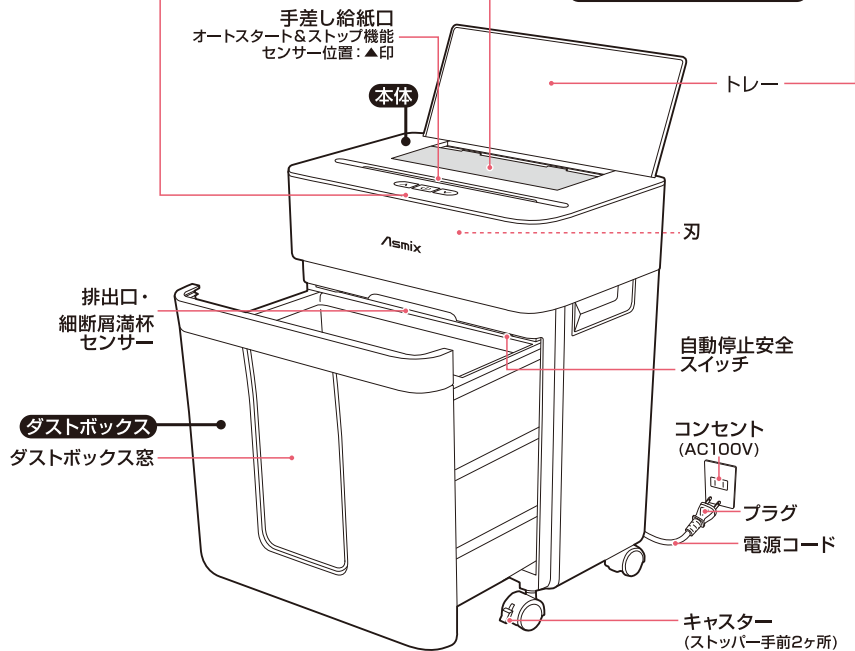
- ① 逆転スイッチ
- ② 電源スイッチ (電源/警告ランプ)
- ③ 手動細断 (オートフィードスタート) スイッチ



電源/警告ランプ



フィーダーカバー内部図



手差し給紙口
オートスタート&ストップ機能
センサー位置: ▲印

本体

トレー

刃

排出口・
細断屑満杯
センサー

自動停止安全
スイッチ

コンセント
(AC100V)

ダストボックス
ダストボックス窓

プラグ
電源コード

キャスター
(ストッパー手前2ヶ所)

設置の仕方

- 移動時はプラグが抜けていることを必ずご確認ください
- 本体はコンセントの近くに設置してください
- いつでも簡単にプラグが抜き差しできるようにコンセントの周りに物を置かないでください

- ① 水平で安定した所に設置し、キャスターのストッパー (手前2ヶ所) をかけてください。
移動時以外は、キャスターのストッパー (手前2ヶ所) を必ずかけてください。
- ② ダストボックスを本体にしっかり入れてください。
 - 物・手を載せたままトレーを閉じないでください。
 - ダストボックスを入れる時は指をはさまないようにご注意ください。

スイッチと主な機能

電源 / 警告ランプ

青色点灯

電源
スイッチ
ON/OFF

電源スイッチを**ON**にすると電源が入り、ランプが青色点灯します。
●使用後は電源スイッチを**OFF**(ランプ消灯)にし、電源を切ってください。
●しばらく使用しない時・細断屑を捨てる時・お手入れの時・ダストボックスを引き出す時・移動する時は、トレーを閉じて電源スイッチを**OFF**(ランプ消灯)にし、プラグを必ず抜いてください。

青色点滅

細断屑
満杯
センサー

ランプが青色点滅したら
細断屑を捨ててください。
P.6「細断屑の捨て方」参照
細断屑が満杯になると細断を停止し、ランプが青色点滅します。

赤色点滅

フィーダー
カバー
スイッチ

ランプが赤色点滅してオートフィード細断を
しない時 フィーダーカバーとトレーを閉じてください。
する時 フィーダーカバーをしっかりと閉じてください。
トレーが開き、フィーダーカバーが手前に開いている時、ランプが赤色点滅します。

温度
ブレイカー

フィーダーカバーが開いていないのにランプが赤色点滅したら
電源スイッチを**OFF**(ランプ消灯)にし、モーターの温度が下がるまで**約60分間**休ませてください。
長時間使用した時・モーターに過度の負荷がかかり過ぎた時等、モーターの温度が上昇すると刃の回転が停止し、ランプが赤色点滅します。

逆転スイッチ

ランプ青色点灯時に
逆転スイッチを押している間、刃が逆転します。
細断を中止する時・詰まった紙が取り出せない時は**逆転**スイッチを押してください。

手動細断
(オートフィード
スタート)
スイッチ

ランプ青色点灯時に
手動細断(オートフィードスタート)スイッチを押している間、刃が正転します。
オートフィード細断をご使用の場合、**手動細断**(オートフィードスタート)スイッチを押すと細断を開始します。
P.8「オートフィード細断の仕方」参照

オートリバース
機能

一度に多量の紙を入れたり、斜めに入れて細断屑が詰まると刃が逆転して停止します。
P.6「手差し細断中に紙が詰まった時」
P.8「オートフィード細断中に紙が詰まった時」参照

手差し/オートフィード
同時細断防止機構

オートフィード細断中に手差し給紙口に紙を入れるとオートリバースします。
手差し細断とオートフィード細断は同時に使用できません。

自動停止安全
スイッチ

ダストボックスが本体から離れた時
安全のため電源が切れ、ランプが消灯します。
ダストボックスを本体にしっかりと入れてください。

手差し細断

故障の原因になるため絶対にお守りください

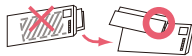
以下の細断禁止物を 入れないでください

10/11号以外のステープラー針・ゼムクリップ・シールや運送会社の送り状等 粘着剤つきの紙・両面テープ・ダンボール・厚紙・和紙等の柔らかい紙・湿った紙・新聞紙・カーボン紙・ラミネートされた紙・ラベル、のり、フィルムがついた紙・透明の封筒や窓つき封筒・CD・DVD・ポリ袋 金属類・プラスチック類・布類・ビニール類



細断枚数をお守りください

- 定格細断枚数はA4コピー用紙タテ入**8枚**です。
- 10/11号のステープラー針は定格細断枚数内で**手差し細断**が可能です。10/11号以外のステープラー針は必ず取り外して入れてください。
- 針なしステープラーを使用した紙はそのまま入れないでください。1枚ずつほぐし、枚数を確認してから入れてください。
- DMやカタログが入ったままの**厚い封筒**を入れしないでください。細断枚数過剰・細断禁止物の混入を防ぐため、中身を出して別々に入れてください。
- 紙を折ったまま入れる時は枚数をご確認ください。



お願い

- オートフィード細断と手差し細断は同時に使用できません。
- 紙は給紙口の▲印に合わせて**まっすぐ**入れてください。
- 小さい紙は、給紙口の▲印に合わせて**横向き**に入れてください。オートスタート&ストップ機能センサーが感知し、細断を開始します。
- 給紙口の幅より大きい紙は、**折って**入れてください。定格細断枚数を超えた枚数にならないようにしてください。



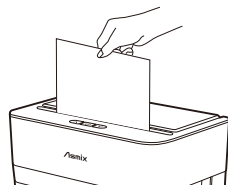
大きいまま入れない

- 通常の細断・続けて細断する時は定格細断枚数以内で入れてください。
 - 一時的に最大細断枚数の細断が可能ですが、長くご使用いただくために定格細断枚数以内での細断をおすすめします。
 - 最大細断枚数は、10回連続で細断可能な枚数です。(細断率90%以上)
- 湿度が高い時・紙質により細断されない時は細断枚数を減らして入れてください。
- 続けて細断する時は**細断が完全に終わってから**次を入れてください。
- コンピューター用紙等の連続用紙は切り離して入れてください。
- 定格細断枚数を続けて**手差し細断ができる時間は6分間**です。フィーダーカバーが開いていないのにランプが赤色点滅した時は電源スイッチをOFF(ランプ消灯)にし、モーターの温度が下がるまで**約60分**間休ませてください。
- **細断屑をこまめに捨ててください。**ランプが青色点滅し、数秒間逆転後停止したら細断屑を捨ててください。P.6「細断屑の捨て方」参照

- 本体はコンセントの近くに設置してください
- いつでも簡単にプラグが抜き差しできるようにコンセントの周りに物を置かないでください

手差し細断の仕方

- ① プラグをコンセントに差し込み、**電源スイッチをON**(ランプ青色点灯)にしてください。
- ② **トレーは閉じたまま紙を給紙口に入れてください。**
 - 紙を入れると細断を開始し、細断後停止します。
 - 手差し細断中にトレーを開けると細断が停止します。
- ③ 使用後は**電源スイッチをOFF**(ランプ消灯)にしてください。
 - しばらく使用しない時はプラグを必ず抜いてください。



手差し細断中に紙が詰まった時

- ① ダストボックスの細断屑を捨ててください。
P.6「細断屑の捨て方」参照
 - 電源スイッチを**OFF**(ランプ消灯)にし、プラグを必ず抜いてください。
 - 捨てた後はダストボックスを本体にしっかり入れ、プラグを差し込み、**電源スイッチをON**(ランプ青色点灯)にしてください。
- ② **逆転スイッチ**を押しながら詰まった紙を取り出してください。
- ③ 紙を取り出したら**手動細断**(オートフィードスタート)スイッチを数秒間押しして刃を空転させ、刃についている細断屑を落としてください。
- ④ 紙を再度入れてください。
詰まった紙は細断枚数を減らし、**細断していない方向から、再度手差し細断**をしてください。



一度で取り出せない場合

逆転スイッチと手動細断(オートフィードスタート)スイッチを繰り返し**交互**に押し、取り出してください。

- 繰り返して**交互**に押し時は、1秒間以上間隔を必ずあけてください。故障の原因になります。
 - 数回行っても取り出せない時は、故障する恐れがありますので、無理に取り出さないでください。
- 電源スイッチをOFF**(ランプ消灯)にし、プラグを必ず抜きP.10「保証とアフターサービス」をお読みいたしてから修理をお申し付けください。

細断屑の捨て方

- ① **電源スイッチをOFF**(ランプ消灯)にし、プラグを必ず抜いてください。
- ② ダストボックスを引き出し、細断屑を捨ててください。
- ③ 捨てたらダストボックスを本体にしっかり入れてください。
指をはさまないようにご注意ください。

奥まで
しっかり
入れる



細断屑はこまめに捨ててください

ダストボックスの容量はA4コピー用紙

【手差し細断】約**544枚**※タテ入8枚ずつ細断時

【オートフィード細断】約**136枚**※1枚ずつ細断時

- 細断屑が排出口まで溜まると故障の原因になります。

オートフィード細断

故障の原因になるため絶対にお守りください

オートフィード細断
A4・B5 コピー用紙専用です
それ以外の紙は手差し細断をしてください

以下に表記のオートフィード細断禁止物
やオートフィードセット枚数以上を
入れないでください。

A4、B5コピー用紙以外の紙・色の濃い紙・
オートフィードで詰まった紙・
オートフィードセット枚数以上のコピー用紙・
ステープラーの針やゼムクリップがついた紙・
しわ、やぶれ、折ったままの紙・
湿気を含み重なった紙・乾いていない紙・
変形した紙・不揃いな紙



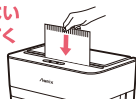
**オートフィードセット枚数を
お守りください**

- 一度にセットできる枚数(オートフィードセット枚数)はA4・B5コピー用紙**100枚**です。
- オートフィード細断中は紙を継ぎ足さず、**トレーを動かさないでください。故障の原因になります。**
- 針なしステープラーを使用した紙は**そのままセットしないでください。**
1枚ずつはくし、枚数を確認してからセットしてください。

お願い

- オートフィード細断と手差し細断は同時に使用できません。

- オートフィード細断中に、手差し給紙口に紙を入れるとオートリバーします。
- 細断前の紙は細断停止を確認してからトレーにセットし直してください。
- 詰まった紙は細断していない方向から手差し細断をしてください。



- フィーダーカバーをしっかりと閉じてください。
トレーが開きフィーダーカバーが手前に開いている時、ランプが赤色点滅し、細断できません。

- 紙をトレーの奥に**まっすぐ**セットしてください。



- 湿度が高い時・紙質により細断されない時は手差し細断をしてください。

- 刃が逆転後停止し、紙送りされない場合は紙を揃えてトレーの奥にしっかりセットしてください。

電源スイッチを**OFF**(ランプ消灯)にし、プラグを必ず抜き、フィーダーカバーを手前に開いて紙が残っていないかご確認ください。
P.8「オートフィード細断中に紙が詰まった時」参照

- オートフィード細断ができる時間は**約30分間**です。

フィーダーカバーが開いていないのに、ランプが赤色点滅した時は**電源スイッチをOFF**(ランプ消灯)にし、モーターの温度が下がるまで**約60分間**休ませてください。

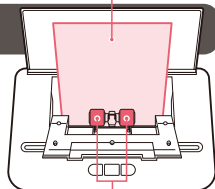
- 細断屑は**こまめに捨ててください。**
ランプが青色点滅し、数秒間逆転後停止したら細断屑を捨ててください。
P.6「細断屑の捨て方」参照

- 本体はコンセントの近くに設置してください
- いつも簡単にプラグが抜き差しできるようなコンセントの周りに物を置かないでください

紙はローラーの下に
セットする

オートフィード細断の仕方

- ① トレーを開き、フィーダーカバーを手前に開いてください。
- ② ローラーをゆっくり軽く持ち上げて、**揃えた紙**を下にセットしてください。
- ④ フィーダーカバーをしっかりと閉じ、プラグをコンセントに差し込み、**電源スイッチをON**(ランプ青色点灯)にしてください。
- ⑤ **手動細断**(オートフィードスタート)スイッチを押してください。
 - 1枚ずつ紙送りされ、自動的に細断を開始し、トレーの紙がなくなると停止します。
- ⑥ 使用後はトレーを閉じ、**電源スイッチをOFF**(ランプ消灯)にしてください。
 - 指をはさまないようにご注意ください。●しばらく使用しない時はプラグを必ず抜いてください。

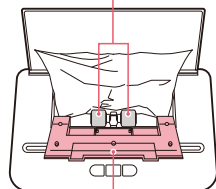


ローラーはゆっくり持ち上げる

オートフィード細断中に紙が詰まった時

- ① トレーの紙を外し、ダストボックスの細断屑を捨ててください。P.6「細断屑の捨て方」参照
 - 電源スイッチを**OFF**(ランプ消灯)にし、プラグを必ず抜いてください。
 - 捨てた後ダストボックスを本体にしっかりと入れ、プラグを差し込み、**電源スイッチをON**(ランプ青色点灯)にしてください。
- ② **逆転**スイッチを数秒間押してください。
- ③ **電源スイッチをOFF**(ランプ消灯)にし、プラグを必ず抜き、フィーダーカバーを手前に開き、詰まった紙を取り出してください。
 - 詰まった紙は無理に引っ張らず、ローラーをゆっくりと軽く持ち上げて取り出してください。
- ④ フィーダーカバーを閉じ、**電源スイッチをON**(ランプ青色点灯)にしてください。
- ⑤ **手動細断**(オートフィードスタート)スイッチを数秒間押し、刃を空転させ、刃についている細断屑を落としてください。
 - 一度で取り出せない場合はP.6「一度で取り出せない場合」参照
 - 詰まった紙は細断していない方向から**手差し細断**をしてください。P.6「手差し細断の仕方」参照

ローラーはゆっくり持ち上げる



フィーダーカバー

ローラーの点検

細断屑や紙粉がローラーについていると正しく紙送られない場合があります
ローラーは定期的に点検・掃除をしてください

- ① **電源スイッチをOFF**(ランプ消灯)にし、プラグを必ず抜き、フィーダーカバーを手前に開いてください。
- ② ローラー、オートフィードセンサー、フィーダーカバー内部についている細断屑や紙粉を取り除いてください。
 - 乾いたスポンジなどで拭き取ってください。
 - 汚れがひどい時は、水を少し含めたスポンジなどで拭き、乾かしてから紙をセットしてください。

お手入れの仕方

電源スイッチをOFF(ランプ消灯)にし、プラグを必ず抜き、乾いた柔らかい布で、乾拭きしてください。

- 汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤を少しつけた布で拭いてから乾いた布で拭きとってください。
- シンナー・ベンジン・揮発性の液体は使用しないでください。ショート・感電・火災の原因になります。
- クレンザー等の研磨剤は使用しないでください。変質・変色の原因になります。

故障かな?と思った時

修理をお申し付けいただく前に取扱説明書をよくお読みの上ご使用方法をご確認ください

こんな時は	チェック	処 置
刃が回転しない	ランプが青色点灯していますか?	電源スイッチを ON (ランプ青色点灯)にしてください。
	紙が詰まっていますか?	紙を取り出してください。P.6「手差し細断中に紙が詰まった時」 P.8「オートフィード細断中に紙が詰まった時」参照
	ランプが青色点滅していませんか?	細断屑を捨ててください。P.6「細断屑の捨て方」参照
	ランプが赤色点滅していませんか?	電源スイッチを OFF (ランプ消灯)にし、モーターの温度が下がるまで約60分間休ませてください。 オートフィード細断をしない時、フィーダーカバーとトレーをしっかりと閉じてください。 オートフィード細断をする時、フィーダーカバーをしっかりと閉じてください。
	ダストボックスが本体にしっかりと入っていますか?	ダストボックスをしっかりと入れてください。
	給紙口の▲印に合わせて入っていますか?	給紙口の▲印に合わせてまっすぐ入れてください。
刃が回転しても細断しない	紙が詰まっていますか?	紙を取り出してください。P.6「手差し細断中に紙が詰まった時」 P.8「オートフィード細断中に紙が詰まった時」参照
	最大細断枚数を超えた枚数を入れていませんか?	細断枚数を減らしてください。
オートフィード細断で紙送りされない	揃えた紙をトレーにセットしていますか?	揃えた紙をトレーの奥にしっかりとセットください。
	紙が詰まっていますか?	紙を取り出してください。 P.8「オートフィード細断中に紙が詰まった時」参照
	オートフィード細断禁止物を入れていませんか?	オートフィード細断禁止物を入れしないでください。 P.7「故障の原因となるため絶対にお守りください」参照
	ランプが赤色点滅していませんか?	フィーダーカバーをしっかりと閉じてください。
	細断屑や紙粉がローラーについていませんか?	ローラーを掃除してください。P.8「ローラーの点検」参照
細断が途中で止まる	ランプが青色点滅していませんか?	細断屑を捨ててください。P.6「細断屑の捨て方」参照
	ランプが赤色点滅していませんか?	電源スイッチを OFF (ランプ消灯)にし、モーターの温度が下がるまで約60分間休ませてください
	紙が詰まっていますか?	紙を取り出してください。P.6「手差し細断中に紙が詰まった時」 P.8「オートフィード細断中に紙が詰まった時」参照
	紙を斜めに入れていませんか?	給紙口の▲印に合わせてまっすぐ入れてください。
	給紙口の幅より大きな紙を入れていませんか?	給紙口の幅より大きな紙は折って入れてください。 折った時に定格細断枚数を超えた枚数にならないようにしてください。
	細断禁止物を入れていませんか?	細断禁止物を入れしないでください。 P.5「故障の原因となるため絶対にお守りください」P.6「手差し細断中に紙が詰まった時」P.8「オートフィード細断中に紙が詰まった時」参照
本体が熱い	ランプが赤色点滅していませんか?	電源スイッチを OFF (ランプ消灯)にし、モーターの温度が下がるまで約60分間休ませてください。
刃の回転が止まらない	紙が給紙口にはさまっていませんか?	電源スイッチを OFF (ランプ消灯)にし、プラグを必ず抜き、はさまった紙を取り除いてください。

以上のチェックを行っても直らない場合は、まずお求めの販売店まで下記の事項をできるだけ詳しくお申し付けください。

- ①故障状況 ②品番「SF301C/SAF301C」 ③ご購入年月日(保証書に記入されています。)

保証とアフターサービス よくお読みください


修理・ご不明な点等はまずお買い上げの販売店までお申し付けください

- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上 販売店からお受け取りください
内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は「お買い上げの日より1年間です」
保証期間中でも、有料になることがありますので保証書をよくお読みください。
※分解されますと、保証が無効になります。
- 修理を依頼される時はP.9「故障かな?と思った時」をご確認ください
それでも異常がある時は、使用をやめてプラグを必ず抜き、お買い上げの販売店まで保証書を添え、この製品を「お持込」の上、修理をお申し付けください。
 - 保証期間中は保証内容(修理規定)に従って修理させていただきます
 - 保証期間が過ぎ修理によりご使用できる場合には有料で修理させていただきます
- 出張修理は行っておりません
点検・修理の発送のために外箱・緩衝材を保管しておいてください。
- この製品についてのご意見・ご質問はカスタマーサービスセンターまでお申し付けください

お願い 修理をお申し付けいただく時は付属品も一緒にお持込ください

- 便利メモ お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年 月 日	電話() -

愛情点検	長年ご使用のシュレッターは点検を! ご使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、安全性を損なって事故につながる場合があります。
	<p>このような症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none">●電源を入れても細断しなかったり、途中で止まったりする。●電源コードに傷があったり、動かすと通電したり、しなかったりする。●異常な発熱・異音・異臭がする。 <p>故障や事故防止のために、電源を切り、プラグを必ず抜き、お買い上げの販売店まで修理をお申し付けください。</p>

保証内容 (修理規定)

- 取扱説明書・本体貼り付けラベル等の使用上の注意に従った使用方法で保証期間内に故障した場合には、**無料修理**をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店まで製品と本書とお買い上げが証明できる領収書やレシートを「**お持込**」の上、修理をお申し付けください。
(ロ) **お送りいただく場合の梱包・輸送の費用等はお客様のご負担になります。**
- 保証期間内で次の場合には**有料**にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障・損傷。
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設・輸送・落下等による故障・損傷。
(ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)等による故障・損傷。
(ニ) 車両・船舶等に搭載された場合に生ずる故障・損傷。
(ホ) 本書のご提示がない場合。
(ヘ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、
あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合には、お買い上げの販売店またはカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

保証書

持込修理

お客様	お名前	様
	ご住所	〒
	電話番号	()
	お買い上げ日	年 月 日
販売店名・住所・電話番号		
電話() -		

品名 **クロスカット
オートフィードシュレッダー**
品番 **SF301C/SAF301C**
保証期間 **お買い上げより1年間**

〈販売店様へお願い〉
左記に記入及び捺印のない場合は、
販売店様発行の領収書等、
お買い上げの年月日・店名等を
証明する物をお貼りください。

株式会社アスカ

カスタマーサービスセンター ☎050-3381-5100
受付時間: AM10:00~12:00/PM1:00~5:00
月曜日~金曜日
(祝祭日・年末年始・夏季休暇期間を除く)

保証書にご記入いただきました個人情報の取扱について

お客様にご記入いただきました保証書記載の個人情報(お名前・ご住所・電話番号)は保証期間内のサービスの目的にのみ利用させていただきます。これらの情報は、お客様に明示した利用目的の範囲をこえて利用することはありません。業務上必要な範囲をこえて、個人情報を第三者(修理委託先は除く)に開示または提供いたしません。

修理メモ